

# 橋本高等学校

実施日時	平成31年 1月 21日(月)～1月 25日(金)
参加者	生徒200名 計200名
実施内容	防災講話、炊き出し・配膳訓練

## 事前の取組

本校では毎年1学年を対象として防災スクールを実施している。また、実施日については地域住民とのつながりや交流を深めるため、全校生徒を対象とした避難訓練を9月4日(火)午前中に実施し、地域の方々とともに消防署員から毛布を用いた救急搬送、市役所の職員からは避難場所や備蓄品などについて講義をうけ、午後に防災スクールを行うこととした。

防災スクールの実施内容については、本校が地域の避難場所になっていることや阪神淡路大震災・東日本大震災の教訓から、また、防災スクール実施後の反省などから、炊き出し配膳訓練、マイトイレ作り、三角巾による応急手当、パーティション組立を行うこととした。

そのため、1クラスについて10名1班とし、学年で24班を編成し班ごとにアルファ化米、マイトイレ作り、応急手当、パーティション組立の責任者を決め、事前に昨年度の担当生徒からの講習会を実施することとした。

## 主なプログラム

### 炊き出し・配膳訓練

当初、上記の形で9月4日(火)の午後に高校1年生で防災スクールを行う予定であったが、当日警報が発令され中止となったため、その後1学年と相談し、代替措置として1Aから1Eの各クラスごとに家庭科の授業の中でお米についての学習の一環として、1月21日(月)から25日(金)の期間に防災の講話とアルファ化米の炊き出し、配膳訓練を行うこととした。



## 参加者感想文

今回、家庭科の授業で防災についての話を聞き、その後アルファ化米の炊き出しと配膳を行いました。食べる前は非常用のアルファ化米ということでおいしいのかなと思いましたが、食べてみると思っていた以上においしかったので驚きました。また感じたことはもし災害などが起こったときにまず、自分自身の命を守りその後、私たち高校生の力で近隣の方々や小さな子どもたちを助け、援助できるようになりたいということです。災害が起こらないのが一番だと思いますが、今後、万が一の場合を考えて非常食や防災グッズなどをしっかりと家族で準備したいと考えるようになりました。

## 成果と課題

今年度については警報が発令され、全てのプログラムを行うことができなかったため、来年度以降については反省を活かして中止になった場合の対応などについても事前に計画し考えていく必要がある。